



あいことば 上宇部 2026

～ 「あい」「ことば」を大切にする学校 ～

「しあわせの連さ」

06.25 NO-14

「学校を核とした地域づくり」って？

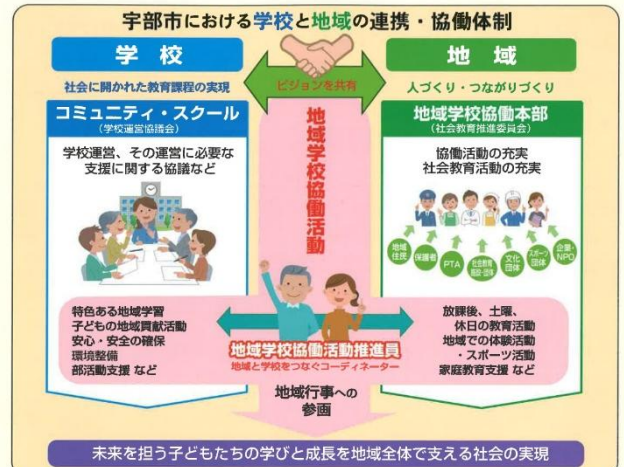
宇部市では、学校と地域の連携・協働体制のモデルを右図のように位置付けています。上宇部地域においても、未来を担う子どもたちの学びと成長を地域全体で支える社会の実現をめざし、地域の様々な関係団体が地域づくり協議会を中心に連携し、活動を進めています。

これまで、「学校が地域にどのように関わ
るのか」「学校を核とした地域づくりの具体
像とは何か」といった点については、必ずしも明確になっていないのが現状です。だからこそ、関係者同士が意見交換や思いの共有を重ね、対等な立場で対話を続けていくことが重要であると感じています。

そうした中、先日、地域と学校の連携の在り方や仕組みについて、地域の方々（上宇部中学校学校運営協議会長、上宇部小学校学校運営協議会長、上宇部地域づくり協議会長、上宇部地域学校協働活動推進員）と校長が意見交換を行いました。宇部市教育委員会の地域連携担当者にも同席いただき、計6名で、これまでの連携体制を踏まえながら、課題や問題点、今後の在り方について協議しました（下写真）。宇部市のコミュニティ・スクールや地域学校協働活動に関するリーフレット、「夢たまごネット協議会」の規約、連携の構想図などを資料として、1時間余りにわたり活発な議論が交わされました。

この協議の結果、「現状に即した連携体制へ少しずつ移行していこう!」という点で一致しました。

今後は、その実現に向けて具体的な取組を進めていくことになります。



「令和8年度 宇部市コミュニティ・スクールと地域学校協働活動」から抜粋

